

6番 川崎 勝 議員

1 都市計画道路「寿大通線」（県道下高隈川東線）の整備状況と今後の整備計画について

- (1) 第1期計画など、これまでの整備概要を示されたい。
- (2) 第2期計画の概要（事業費・道路幅員など）を示されたい。また、第1期計画に比べ道路幅員が縮小している経緯も併せて示されたい。
- (3) 寿大通線と国道269号との交差点の改良計画の状況はどうなっているか。
また、国道269号を過ぎて直ぐに国道220号との交差点、さらに北上し、本線の県道下高隈川東線に戻す道路線形が一般的と考えるが、国道269号から北側の道路計画はどうなっているのか、考え方を示されたい。
- (4) 寿・札元・東原台地は国営耕地整理事業、国営畑地灌漑事業等の歴史を象徴するような、基礎的土地利用形態がある。費用対効果、事業の短縮化などを考慮しても、寿大通線と国道269号の交差点の接続は現状の線形で整備することが望ましいと考えるが、市長の考えを示されたい。
- (5) 道路構造令に従い整備された場合、札元台地の中心部の貴重な土地利用を阻害し、余剰地が出来るため、現状の線形での整備を県に働きかけるべきと考えるが、市長の考えを示されたい。